



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和5年6月第2回市長定例記者会見

- ・日時 令和5年6月7日(水)
午後2時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 渋川市と市民団体、高崎商科大学が連携協力して
学生の視点によるまちなか活性化の仕掛け作りを行います(資料1)
- 2 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業の採択を
受けました(資料2)
- 3 渋川市観光総合パンフレットをリニューアルしました(資料3)
- 4 令和5年度渋川市子ども会大会を開催します(資料4)

その他資料提供

- ・大相撲二子山部屋の二子山親方(元大関雅山)が市長を表敬訪問します(資料5)
- ・官民協働事業により「くらしの便利帳2023」を発行しました(資料6)
- ・令和5年度市民環境大学を開催します(資料7)

○次回開催予定

日時：令和5年6月16日(金) 午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
6月5日(月)	10:00	議会運営委員会	市役所本庁舎	議会事務局
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	政策戦略課
6月6日(火)				
6月7日(水)	7:30	群馬県選出国会議員との朝食会	都市センターホテル	秘書室
	14:00	市長記者会見	市役所本庁舎	政策戦略課
6月8日(木)	10:00	6月市議会定例会：開会、議案上程	議場	議会事務局
6月9日(金)	10:00	6月市議会定例会：議案上程	議場	議会事務局
6月10日(土)				
	19:00	石原西ほたるの里づくりの会ほたる祭り(観賞会)	石原西堤下	環境森林課
6月11日(日)				
6月12日(月)	10:00	6月市議会定例会：一般質問	議場	議会事務局

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
6月12日(月)	10:00	6月市議会定例会:一般質問	議場	議会事務局
6月13日(火)	10:00	6月市議会定例会:一般質問	議場	議会事務局
6月14日(水)	10:00 14:00	6月市議会定例会:一般質問 二子山親方市長表敬訪問	議場 市長応接室	議会事務局 政策戦略課
6月15日(木)	10:00 16:30 18:30	総務市民常任委員会 広域組合管理者・副管理者会議 渋川中央ライオンズクラブ新旧交代例会	市役所本庁舎 広域組合 塚越屋七兵衛	議会事務局 広域組合 商工振興課
6月16日(金)	9:30 13:00 18:00 18:30 18:30	第18回渋川市老人クラブ連合会囲碁・将棋大会 市長定例記者会見 渋川地区職場警察連絡協議会総会後の懇親会 北群馬しんきん会総会後の懇親会 渋川ライオンズクラブ第51代新旧交代例会	渋川市社会福祉協議会子持支所 市役所本庁舎 ホワイトパーク プレヴェール渋川 プレヴェール渋川	高齢者安心課 政策戦略課 生涯学習課 秘書室 商工振興課
6月17日(土)	8:30	二子山部屋相撲教室	赤城地内	政策戦略課
6月18日(日)	14:00 16:00	第20回渋川市民美術展授賞式 (公財)日本青年会議所関東地区群馬ブロック協議会第53回群馬ブロック大会	渋川公民館 北橋公民館	美術館 商工振興課
6月19日(月)	10:00	予算常任委員会	市役所本庁舎	議会事務局

渋川市と市民団体、高崎商科大学が連携協力して 学生の視点によるまちなか活性化の仕掛け作りを行います

渋川市は、渋川にぎわいプロジェクトのメンバーと高崎商科大学の萩原豪研究室と連携協力し、公共交通を使って伊香保を訪れるお客が、待ち時間に渋川のまちなかを気軽に散策するための仕掛けづくりを行います。

学生が市内でフィールドワークを実施し、若者の視点で調査・分析を行い、まちなかを気軽に楽しく散策するための仕掛け作りを行います。6月11日(日)には2回目のフィールドワークを伊香保温泉街と渋川市街で実施します。

1 概 要

様々なイベントを企画・開催し、明るい街づくりに貢献する活動を続けてきた渋川にぎわいプロジェクトのメンバーと、観光まちづくり等を研究している高崎商科大学の萩原豪研究室が手を組んで、公共交通を使って伊香保を訪れる観光客が、待ち時間に渋川のまちなかを気軽に散策するための仕掛けづくり（まち歩きマップ等の作成）を始めました。この取り組みは、渋川市の観光振興とまちなか活性化、新たな市のブランド創出につながる可能性があることから、渋川市を加えた三者で連携協力をしていくことになりました。

また、萩原准教授から、この取り組みについて、公共交通を利用したサステナブル・ツーリズムの推進事例にしたらどうか、という提案がありました。渋川市は、持続可能な社会の実現を目指し、令和4年度に、自家用車を使用しない観光客を対象とする「エコ旅キャンペーン」を実施しました。その関連から、公共交通機関を利用して渋川駅を訪れた人に、電車やバスの待ち時間に気軽に立ち寄れる場所やお勧めの立ち寄りスポット等を紹介し、エコ旅の魅力アップを図ることができれば、サステナブル・ツーリズムの推進と併せてまちなかの活性化につながると考えています。

令和5年度の事業内容のひとつとしては、高崎商科大学の学生が、上半期に3回のフィールドワークを行います。渋川駅から歩いて行ける見所やフォトスポット、気軽に立ち寄れる場所など、まちなかの散策に必要とされる情報を収集するだけでなく、併せて、不足している施設または案内板等の調査も行います。学生の視点で調査、分析を行い、まちなかを気軽に楽しく散策するための仕掛け作りに取り組んでいきます。

2 取り組みの経過と今後の予定（上半期）

（1）フィールドワーク1回目

- ・ 日 時 令和5年5月27日(土)
- ・ 場 所 渋川駅から徒歩圏内（へそ地蔵、真光寺、渋川市民会館など）
- ・ 概 要 渋川駅を起点として、歩いて行ける範囲にある市の見所等を調査しました。
- ・ 参加人数 4人

(2) フィールドワーク 2回目

- ・日 時 令和5年6月11日(日)
- ・場 所 伊香保石段街 → 渋川市街 (まちなか)
- ・概 要 伊香保温泉の宿泊客がチェックアウト後にどのような行動をとるか確認します。その後、渋川市街に戻りランチを提供する飲食店を調査します。その過程で、フォトスポットを探索し、自らも写真撮影を行います。
- ・参加人数 29人 (予定)

(3) フィールドワーク 3回目

- ・日 時 令和5年7月8日(土)
- ・場 所 渋川駅から徒歩圏内
- ・概 要 2回目のフィールドワーク結果を再確認し、にぎわい創出のための仕掛けについて検討を開始します。
- ・参加人数 未定

3 今後の展開

地域活性化へつながるよう、渋川駅を利用する観光客が、渋川のまちなかを気軽に楽しく散策するための情報を整理し、発信する方策を講じます。併せて、若者視点によるお奨めの飲食店情報も掲載します。

4 記者会見出席者

- ・高崎商科大学 商学部准教授 萩原 豪 さん
 - 〃 商学部2年 谷内田 しおん (やちだ しおん) さん
 - 〃 商学部3年 奥田 大翔 (おくだ ひろと) さん
 - 〃 商学部4年 桑子 巧 (くわこ たくみ) さん
- ・高崎商科大学 商学部 萩原研究室OB 海津 直文 さん
- ・渋川にぎわいプロジェクト 代表 笠原 千恵子 さん

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 伊勢 久美子 (内線2410)
担当：政策戦略課 (電話0279-22-2182)
課長 鴻田 吉史 (内線2420)
広報係長 熊迫 徳三 (内線2416)

地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業の採択を受けました

観光庁補助事業「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」について、第1回地域計画審査が行われ、渋川市の作成した地域計画が採択となりました。

この計画に基づいて、渋川市、観光関係団体及び個別事業者により、長期滞在化や歩きたくなる街並みづくり、温泉街のイメージ向上・ブランド力の底上げを図ります。

1 地域計画概要

令和4年度に策定した「第3次渋川市観光基本計画」をもとに、魅力的な景観形成を図るとともに、今後のニーズ変化に対応した施設の高付加価値化に取り組みます。

これにより、伊香保温泉の回遊性・滞在時間を増加させ、伊香保温泉だけでなく周辺エリアへの波及を促します。

なお、本地域計画は、渋川伊香保温泉観光協会、伊香保温泉旅館協同組合及び渋川地区物産振興協会の協力を得たほか、国の伴走支援を受け策定しました。

2 対象地域・対象者

- ・対象地域：伊香保温泉を中心とした渋川市内全域
- ・対象者：対象地域で営業する渋川伊香保温泉観光協会員、伊香保温泉旅館協同組合員及び渋川地区物産振興協会員

3 参加事業者数／事業総額・補助総額

- ・参加事業者数：35者 43事業
- ・事業総額：38億3,794万円（予定）
- ・補助総額：18億7,107万円（予定）

補助メニュー内訳	令和5年度			令和6年度		
	件数	事業費(円)	補助金額(円)	件数	事業費(円)	補助金額(円)
①宿泊施設の高付加価値化	30	2,342,257,000	1,176,817,498	14	1,329,414,000	612,461,665
②観光施設の高付加価値化	9	109,693,000	53,509,000	2	23,470,000	11,735,000
③廃屋の撤去	4	28,697,000	14,348,500	1	4,410,000	2,205,000
合 計	43	2,480,647,000	1,244,674,998	17	1,357,294,000	626,401,665

※令和5年度件数のうち8件が重複事業者

※令和6年度件数は、全て令和5年度の重複事業者

4 目 標

K P I	現 状	短期目標			中長期目標	単位
	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2032年度	
	令和3年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和14年度	
市内観光客	276	346	381	416	500	万人
市内宿泊者数	69	85	93	101	120	万人
(うち伊香保温泉)	60	75.2	82.8	90.4	110	万人
観光消費額	117億	147億	162億	177億	213億	万円
キャッシュレス決済対応率						
①クレカ対応率	61.5	65.2	68.3	72.6	90.0	%
②電子マネー対応率	58.5	62.8	67.1	71.4	90.0	%

5 今後のスケジュール

- ・～7月中旬：個別事業者(旅館・観光施設)による補助金交付申請
- ・～8月中旬：補助金交付決定、事業着工
- ・～令和6年2月末日：事業完了(単年度事業者、複数年度事業者の1年目)
- ・～令和7年2月末日：事業完了(複数年度事業者の2年目(最終))

6 採択状況

本事業は5月に全国で約53カ所が採択となり、県内では川場村と本市の2カ所が採択となりました。

また、令和3年度「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」、令和4年度「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」を含めた3事業を3年連続で実施する団体は、本市を含め全国で5地域となっております。

7 観光庁事業制度概要

「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」

自治体・DMO等や複数の事業者による合意形成のもと、地域計画に掲げるビジョン・コンセプトを各自が理解し、その実現に向けて実施する改修等の事業に対し補助金を交付する事業です。

具体的には、観光地経営のマスタープランとなる地域計画の構築・磨き上げ、および宿泊施設・観光施設の改修、廃屋の撤去、面的DXなど、地域・産業の「稼ぐ力」を回復・強化するための取り組みを支援するものです。

地域計画が採択されると、以下の補助対象事業に取り組むことができます。

- ①宿泊施設の高付加価値化改修：補助上限額1億円(補助率2分の1又は3分の2)
- ②観光施設の改修：補助上限額1,000万円※(補助率2分の1)
- ※面的DX化に参加する場合は2,000万円
- ③廃屋の撤去：補助上限額1億円(補助率2分の1)
- ④公的施設の観光目的での利活用のための民間活力の導入：2,000万円(補助率2分の1)
- ⑤実証実験：1,000万円(補助率2分の1)
- ⑥面的DX化：2,000万円～5,000万円(補助率2分の1)

※渋川市の計画は①～③に取り組む計画です。

参考

これまでの取り組み

1 令和3年度

観光庁「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」の採択を受け、廃屋撤去等による石段街の景観改善と個人旅行ニーズへの適合を目指し、石段街を中心とした宿泊施設及び観光施設29事業者による総事業費6億3,861万1,880円、補助総額2億6,747万5,000円の事業に取り組みました。

2 令和4年度

観光庁「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」の採択を受け、宿泊施設及び観光施設39事業者による総事業費29億8,400万9,000円、補助総額13億1,999万209円の事業に取り組みました。

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭（内線4899）

担当：観光課（電話0279-22-2873）

課長 関口 礼二（内線4880）

観光振興係長 藤井 隆（内線4881）

渋川市観光総合パンフレットをリニューアルしました

渋川市は、従来の観光総合パンフレットの内容及びデザインを一新し、令和5年3月に策定した「第3次渋川市観光基本計画」の取組方針に基づく視点を取り入れた「渋川市観光総合パンフレット（おいで、しぶかわ）」を作成しました。

1 概 要

渋川市は、従来の観光総合パンフレットの内容及びデザインを一新し、令和5年3月に策定した「第3次渋川市観光基本計画」の取組方針に基づく、長期滞在や連泊率の向上、インバウンド向け情報発信、DXの推進などの視点を取り入れた「渋川市観光総合パンフレット（おいで、しぶかわ）」を作成しました。

新たなパンフレットは、市内周遊を促進するためのエリア別紹介や多言語対応などの工夫を行っています。

2 内 容

(1) エリア別紹介

長期滞在や連泊率の向上の観点から、市内全体に目を向けていただき、周遊を促進するため、市内をエリアごとに分けて紹介しています。

(2) 多言語対応

日本語版のパンフレットに加え、インバウンドへの対応として、英語版、簡体字版、繁体字版の多言語版も作成（簡体字版・繁体字版についてはPDFのみ）しました。

多言語版については、外国からの観光客向けに、入浴の仕方や神社の参拝の仕方を掲載しました。

(3) 二次元コードの活用

DXの推進として、店舗件数が多い水沢うどんや湯の花まんじゅうの詳しい情報は、二次元コードにより、渋川伊香保温泉観光協会のホームページに誘導することで最新の情報を得られるようにするとともに、文字情報量を簡略化することで写真を大きく掲載しています。

また、簡体字版・繁体字版は紙のパンフレットは作成せず、パンフレットのPDFを紐付けた二次元コードの掲出や、市ホームページ等での掲載のみとし、日本語版・英語版においても、パンフレット設置場所に二次元コードを掲出し、紙かデータかを選べるようにすることで、環境に配慮しています。

(4) 写真コンテスト受賞作品等を掲載

掲載写真は、しぶかわいかほフォトコンテストの入賞作品や、渋川市地域おこし協力隊の長沼隊員が撮影した写真等を使用し、視覚的に市内の魅力が伝わるパンフレットとしました。

3 作成部数

日本語版	1万3,000部
英語版	1,000部

4 設置場所

- ・ 渋川市観光課
- ・ (一社) 渋川伊香保温泉観光協会
- ・ 伊香保温泉の各旅館
- ・ 渋川駅観光案内所
- ・ 伊香保石段街バス待合所 等

※渋川市ホームページへに掲載するほか、高速道路のサービスエリアに配架するなどして誘客に結びつけます。

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭（内線4899）

担当：観光課（電話0279-22-2873）

課長 関口 礼二（内線4880）

観光振興係長 藤井 隆（内線4881）

令和5年度渋川市子ども会大会を開催します

「令和5年度渋川市子ども会大会」を6月18日（日）に開催します。
優良子ども会・育成功労者表彰式及び優良子ども会活動事例発表会のほか、レクリエーションとして大かるた大会を行います。

1 目 的

渋川市子ども会大会は、渋川市教育委員会及び渋川市子ども会育成会連絡協議会の主催事業として、平成19年度から開催してきました。

渋川市の各地区子ども会活動及び育成会活動の活性化と、基本的な指導力の養成を目的として開催し、併せて会員及び各地区連絡協議会相互の親睦や、渋川市子ども会育成会連絡協議会としての相互理解と連帯感の醸成を図ります。

2 日 時 令和5年6月18日（日） 午前9時～午後0時35分

3 場 所 渋川市子持社会体育館（渋川市吹屋658－10）

4 内 容

（1）開会式（午前9時～9時15分）

- ・あいさつ 渋川市子ども会育成会連絡協議会 会長
渋川市教育委員会 教育長

（2）優良子ども会・育成功労者表彰式及び優良子ども会活動事例発表会（午前9時20分～10時20分）

- ・優良子ども会・育成功労者表彰式（7地区）
- ・優良子ども会活動事例発表（7地区）

（3）大かるた大会（午前10時20分～午後0時20分）

- ・A2程度の大きさの上毛かるた取り（6チーム）

（4）閉会式・表彰式（午後0時20分～午後0時35分）

- ・大かるた大会表彰式

5 優良子ども会・育成功労者表彰式及び優良子ども会活動事例発表会

（1）表彰について

子ども会・育成会組織として継続して活動し、その業績が顕著である地区について、地区協議会長の推薦があったものについて表彰を行います。

（2）表彰対象子ども会・育成会

- ・有馬子ども会育成会（古巻地区）
- ・見滝子ども会（赤城地区）
- ・石原第一子ども会育成会（豊秋地区）
- ・河原子ども会（子持地区）
- ・真壁下子ども会（北橘地区）
- ・小野上地区第三支部・第四支部子ども会育成会（小野上地区）
- ・辰己町子ども会育成会（南地区）

(3) 活動事例発表会

表彰を受けた各地区の児童・生徒たちがスライド等を使用し、各地区の子ども会活動事例や各地区の紹介を行います。発表地区は表彰地区と同一です。

6 大かるた大会

児童、生徒及びその保護者が上毛かるたに親しんでもらうことを目的として実施します。各チーム1試合に10人の選手を選出し、社会体育館メインアリーナに並べられたA2程度の大きさの上毛カルタ取りを行います。

【出場チーム】

- ・赤城地区（見滝子ども会）
- ・豊秋地区（行幸田子ども会育成会・石原第一子ども会育成会）
- ・子持地区（田尻子供育成会）及び北地区（下郷子供会育成会）※合同チーム
- ・北橘地区（真壁下子ども会）及び南地区（南町子ども会育成会）※合同チーム
- ・小野上地区（小野上地区第三支部・第四支部子ども会育成会）
- ・南地区（上郷子ども会育成会・辰己町子ども会育成会）

7 主 催

渋川市教育委員会 渋川市子ども会育成会連絡協議会

参考

渋川市子ども会育成会連絡協議会

渋川市内各協議会（古巻、赤城、豊秋、金島、子持、北、北橘、伊香保、小野上、南の10地区）の連携調整を図り、子ども会活動の促進・向上を図ることを目的とした組織。現在の会員数は4,625人。

■問い合わせ先

教育部 部長 佐藤多恵子（内線4930）

担当：生涯学習課（電話0279-22-2500）

課長 照井 智子（内線4950）

青少年係長 狩野美菜子（内線4952）

資料5

大相撲二子山部屋の二子山親方（元大関雅山）が市長を表敬訪問します

大相撲二子山部屋の合宿が4年ぶりに渋川市赤城町地内で行われるに当たり、二子山親方（元大関雅山）が、6月14日（水）に市長を表敬訪問します。

1 概要

渋川市赤城町地内に合宿所がある関係で、渋川市と交流をしてきた大相撲二子山部屋の合宿が、新型コロナウイルスの5類移行を受けて、4年ぶりに渋川市の合宿所で行われます。これに当たり、二子山親方（元大関雅山）が、市長を表敬訪問します。

2 日時 令和5年6月14日（水） 午後2時

3 場所 渋川市役所本庁舎2階 市長応接室

4 訪問者 大相撲二子山部屋 二子山親方（元大関雅山）

5 その他

今回の合宿開催に当たり、6月17日（土）に、二子山部屋こども相撲教室が開催されます。

参考

1 二子山親方について

元大関 雅山（みやびやま）。平成25年に第14代二子山を襲名し、平成30年に二子山部屋を創設。二子山部屋（東京都葛飾区）では、西十両四枚目の狼雅（ろうが）を始め17人の力士が所属する。

2 渋川市と二子山部屋との交流

- ・ 令和元年6月10日 渋川市赤城町南赤城山で二子山部屋合宿所土俵開き
二子山親方が市役所を訪れ市長表敬
朝稽古見学受け入れ
- ・ 令和元年8月6日 二子山親方、所属力士による春日園慰問

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 伊勢 久美子（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-22-2182）

課長 鴻田 吉史（内線2420）

政策創造係長 坂本 和馬（内線2422）

官民協働事業により

「渋川市くらしの便利帳2023」を発行しました

渋川市は、市民の暮らしに役立つ情報の提供を目的に、くらしの便利帳を2016年（平成28年）から数年おきに発行しています。今回新たに、株式会社サイネックスとの官民協働事業により「渋川市くらしの便利帳2023」を制作し、市が推進する共生社会実現や食品ロス削減などの啓発記事を掲載しました。

本誌は6月中に市内の各家庭に順次配布します。

1 概 要

市役所での各種手続や防災情報など、市民の生活に密着した情報をまとめ、市民サービスの向上を図る冊子の最新版「渋川市くらしの便利帳2023」が完成しました。

発行については、株式会社サイネックスとの官民協働事業として実施したものであり、サイネックス社が広告主を募集し、その広告収入で発行経費を賄っています。

2 主な変更点

渋川市の取り組み・魅力を紹介する「渋川市ガイド」に、新たに共生社会実現のための取組内容や食品ロス削減への啓発記事、しぶかわ電子地域通貨「渋Pay」の利用方法などを掲載しています。



3 発行情報

- | | |
|-----------|---|
| (1) 発 行 者 | 渋川市
株式会社サイネックス |
| (2) 発行部数 | 3万4,600部 |
| (3) 発行年月 | 令和5年5月 |
| (4) 掲載内容 | <p>▷ 渋川市ガイド 渋川市の取組・魅力を紹介（市の概要、共生社会実現、食品ロス削減、温泉・観光案内など）</p> <p>▷ 行政ガイド 生活に伴う各種手続・サービスや相談窓口、防災情報などを案内</p> <p>▷ 生活ガイド 医療機関や各種団体を紹介</p> |
| (5) 広告掲載 | 114企業・団体 |

4 配布方法

6月1日から約1カ月かけて、市内全世帯にポスティング方式（郵便受けに直接投函）で配布を行います。また、6月1日以降に転入する人には、本庁舎市民課及び各行政センターにおいて配布します。

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 伊勢 久美子（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-22-2182）

課長 鴻田 吉史（内線2420）

広報係長 熊迫 徳三（内線2416）

令和5年度「市民環境大学」を開催します

令和5年度の市民環境大学は、「わたしたちの暮らしと環境問題」を全体テーマとし、全5回の講義を開催します。環境に関心を持ち、正しい知識を深め、環境問題に対して私たちに何ができるかを一緒に考えましょう。

1 概 要

渋川市は、市民に環境への関心を持ってもらい、正しい知識を深めてもらうことを目的に、毎年度「市民環境大学」を開催しています。令和5年度は、「わたしたちの暮らしと環境問題」を全体テーマとして、全5回の講義を開催します。

2 開催日及び内容等

	期日（令和5年）	内 容
第1回	7月9日（日）	テーマ：最新の環境問題 講 師：群馬県地球温暖化防止活動推進員 富岡 賢洋さん
第2回	8月20日（日）	テーマ：群馬県の気候と地球温暖化 講 師：前橋地方気象台職員
第3回	9月17日（日）	テーマ：食品ロス問題と削減推進の展望 講 師：高崎健康福祉大学 農学部 講師 谷 顕子 さん
第4回	10月15日（日）	テーマ：日本のエネルギー事情を学び、最適な節電対策を考えよう 講 師：高崎経済大学 地域政策学部 准教授 森田 稔 さん
第5回	11月26日（日）	テーマ：プラスチックごみをもたらす環境問題と対策 ～バイオマス・リサイクル・生分解～ 講 師：群馬大学大学院理工学府 分子科学部門 准教授 橘 熊野 さん

- 3 開催時間 全回午後1時30分～3時30分
- 4 開催場所 渋川市中央公民館 2階講義室（渋川市渋川908-21）
- 5 対 象 者 渋川市内在住、在勤、在学で、原則全回参加できる人
- 6 定 員 30人（先着順）
- 7 申込方法 電話で環境森林課（TEL 0279-22-2114）へ
- 8 申込開始日 令和5年6月8日（木）

参考

過去5年間の市民環境大学開催状況

- | | |
|------------|--|
| (1) 平成30年度 | 全体テーマ：わたしたちの環境問題について考える
参加者数：170人 |
| (2) 令和元年度 | 全体テーマ：わたしたちの生活と環境問題
参加者数：193人 |
| (3) 令和2年度 | 全体テーマ：最新の環境問題を学ぼう
参加者数：188人 |
| (4) 令和3年度 | 全体テーマ：わたしたちの暮らしをもっていたいのかも
参加者数：139人 |
| (5) 令和4年度 | 全体テーマ：気候変動対策
参加者数：140人 |

■問い合わせ先

市民環境部 部長 田中 良（内線1100）

担当：環境森林課（電話0279-22-2114）

課長 照井 清豊（内線1140）

環境政策係長 小林 哲彦（内線1146）